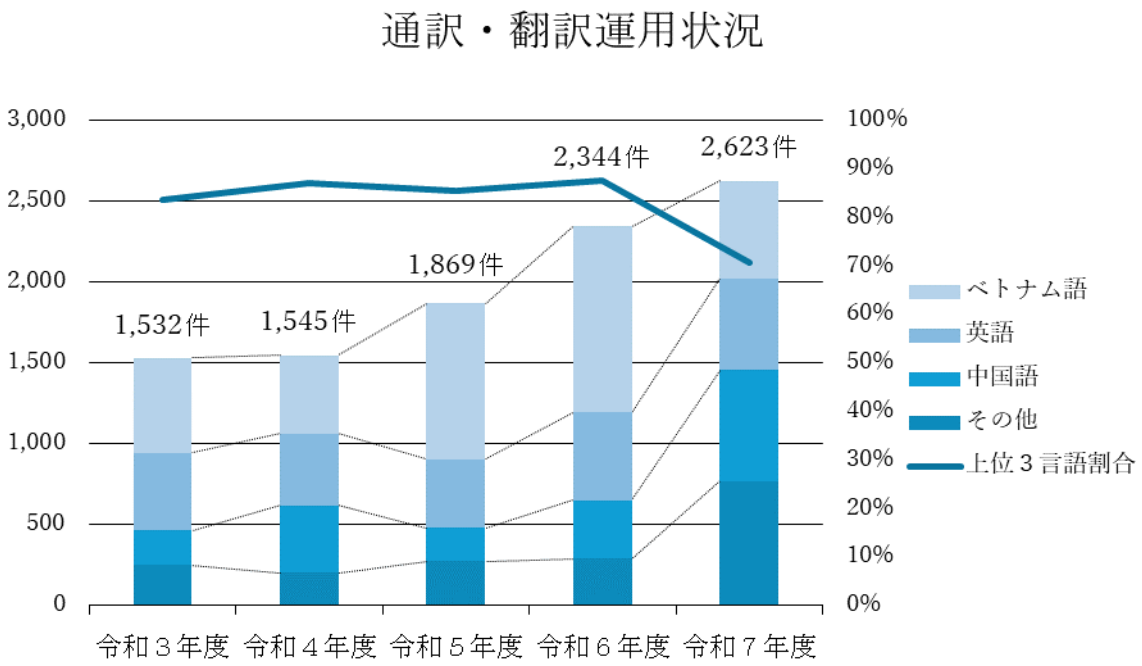
公安委員会説明資料
令和８年５月27日
警務部教養課

令和７年度の通訳・翻訳運用状況について

項　　目	内　　容
運用状況	 ※　全ての警察事象における通訳・翻訳運用件数
特徴等	1　過去5年間、通訳・翻訳運用件数は、増加を続けている。 2　いずれの年度も、「ベトナム語」、「英語」、「中国語」の3言語が、運用件数の上位であり、同3言語で、令和3～6年度は全運用件数の 80%以上、令和7年度は 70%以上を占める。 3　令和3～6年度は、「ベトナム語」の運用件数が最上位であったが、令和7年度は「中国語」の運用件数が最上位となっている。 4　令和7年度は、「クメール語（カンボジア）」（前年比7.0 倍）及び「インドネシア語」（前年比 15.2 倍）の運用が増したこと等が影響し、上位3言語以外の「その他」の運用件数が多くなっている。
今後の対応	1　部内通訳人 (1)　令和８年４月現在、12 言語 55 人を指定。 (2)　警察大学校国際警察センターにおける語学研修科等に、適した人材を参加させ、一人でも多くの部内通訳人の育成を目指す。 (3)　部内通訳人の持つ言語能力は「組織の宝」と考え、タイムリーに柔軟な運用ができるよう努めていく。 2　部外通訳人 (1)　令和８年４月現在、47 言語 190 人を登録。 (2)　訪日、在留外国人が増す中、多言語対応が必要となっている。それらの言語に広く対応できるよう、関係機関との連携や、様々な広報媒体の活用等により、新たな部外通訳人の確保に努める。

公安委員会説明資料
令和８年５月２７日
生活安全部生活安全企画課

熊駆除対応ＰＴ（プロジェクトチーム）の発足について

項　　目	内　　容
概　　要	東日本を中心として増加する熊の出没事案に対し、県民の命と暮らしを守るため、市町村が実施する緊急銃猟等に加え、追加的・緊急的な対応として、市街地等において熊による人身被害が生じ、又は生じる恐れがある場合に、警察官が特殊銃（ライフル銃）を使用して熊の駆除にあたることとし、同任務を遂行するプロジェクトチームを発足させるもの。 令和７年11月に警察庁の関係規則が改正され、熊を駆除する任務のために特殊銃（ライフル銃）を使用することができることとなった。
体　　制	Ｐ　Ｔ　長：生活安全企画課長 副Ｐ　Ｔ長　：機動隊長及び管轄警察署長 現場責任者：管轄警察署生活安全課長 射　撃　班：機動隊員
発　足　日 （運用開始日）	令和８年６月１日から（同日報道発表予定）

公安委員会説明資料
令和８年５月27日
刑事部刑事総務課
刑事部組織犯罪対策課
生活安全部生活安全企画課

令和８年４月末の犯罪情勢について

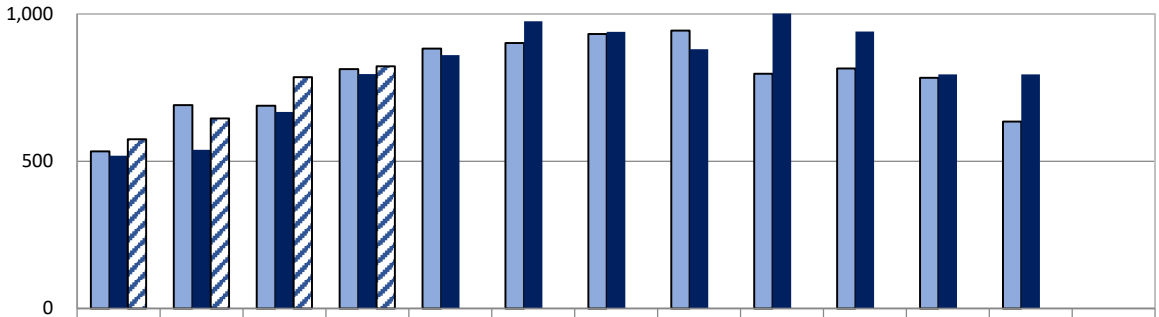
※（ ）内は前年同期比、数値は暫定値

１　刑法犯の概況

(1)　認知状況

○　全刑法犯の認知件数は 2,828 件（　+307 件、+12.2 %）
○　重要犯罪の認知件数は　49 件（　+3 件、+6.5 %）
○　窃盗総数の認知件数は 1,750 件（　+177 件、+11.3 %）

認知件数の推移（月別）



	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	計
R6	534	691	688	813	883	902	932	944	797	815	783	635	9,417
R7	519	539	667	796	860	975	939	880	1,002	940	795	795	9,707
R8	575	645	786	822									2,828

(2)　検挙状況

○　検挙件数は 1,501 件（-289 件、-16.1 %）
○　検挙人員は　983 人（　-9 人、-0.9 %）
○　検挙率は　53.1 %（-17.9 ポイント）

２　罪種別状況

	認知件数		検挙件数		検挙率		検挙人員	
	令和８年４月末	前年同期比	令和８年４月末	前年同期比	令和８年４月末	前年同期比	令和８年４月末	前年同期比
全刑法犯	**2,828**	**+307**	**1,501**	**-289**	**53.1**	**-17.9**	**983**	**-9**
重要犯罪	**49**	**+3**	**52**	**+4**	**106.1**	**+1.8**	**47**	**+8**
殺人	5	-2	6	-3	120.0	-8.6	4	-1
強盗	4	-1	4	-2	100.0	-20.0	3	-4
放火	4	+2	4	+1	100.0	-50.0	5	+1
不同意性交等	13	+2	16	+8	123.1	+50.4	16	+6
略取誘拐・人身売買	0	-3	1	-1	0.0	-66.7	1	±0
不同意わいせつ	23	+5	21	+1	91.3	-19.8	18	+6
窃盗総数	**1,750**	**+177**	**892**	**-323**	**51.0**	**-26.2**	**504**	**-27**
重要窃盗	213	+24	117	-118	54.9	-69.4	31	-6
侵入盗 ※1	201	+16	105	-123	52.2	-71.0	25	-7
自動車盗	6	+2	9	+5	150.0	+50.0	4	+2
ひったくり	4	+4	2	+2	50.0	+50.0	2	+2
すり	2	+2	1	-2	50.0	+50.0	0	-3
その他 ※2	1,029	+127	557	+30	54.1	-4.3	432	+10

※1　「侵入盗」とは、空き巣、忍込み、事務所荒し等をいう。
※2　「その他」とは、暴行、器物損壊等をいう。

3　特殊詐欺（ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺を含む）の概況

(1) 特殊詐欺の認知状況

○　全体で176件(+48件、+37.5%)、特殊詐欺(SNS投資/ﾛﾏﾝｽ除く)は、85件(±0件)
　　ＳＮＳ投資/ﾛﾏﾝｽは、91件(+48件、+111.6%)

○　全体の被害総額は、11億7,625万円(+４億2,877万円、+57.4%)
　　特殊詐欺(SNS投資/ﾛﾏﾝｽ除く)は、４億2,232万円(-3,084万円、-7.9%)
　　ＳＮＳ投資/ﾛﾏﾝｽは、７億5,393万円(+３億9,793万円、+111.8%)

○　交付形態は、振込18件【56%】、現金手交１件【3%】、現金送付２件【6%】
　　暗号資産６件【19%】、電子マネー５件【16%】

(2) 最近の特異事案

○　ニセ警察詐欺で被害者方に[逮捕状](被害者が犯罪に関与していることを認識させるため)や[リフォーム見積書](現金払出時に金融機関からの通報を防ぐため)を送付する手口が増加。

○　犯行グループが被害者(会社)に、仕事の依頼等と連絡を入れ、その後、理由を付けて全く別件(消毒液等)の代理購入を持掛ける等といった詐欺の電話が県内で確認されている。

区　分	令和８年（４月末）		令和７年（４月末）		増減	
	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額
特 殊 詐 欺	176	117,625	128	74,748	+48	+42,877
ニセ警察詐欺	37	30,070	26	31,422	+11	−1,352
オレオレ詐欺	13	4,139	6	1,877	+7	+2,262
預貯金詐欺	1	149	1	368	±0	−219
架空料金請求詐欺	22	2,950	43	3,810	−21	−860
還付金詐欺	1	228	6	573	−5	−345
融資保証金詐欺	1	29	0	0	+1	+29
金融商品・ギャンブル交際あっせん・その他	7	4,215	3	1,098	+4	+3,117
キャッシュカード詐欺盗	3	452	0	0	+3	+452
ＳＮＳ型投資詐欺	58	53,397	16	21,873	+42	+31,524
ＳＮＳ型ロマンス詐欺	33	21,996	27	13,727	+6	+8,269

（被害額の単位：万円）

(3) 検挙件数・人員等

○　特殊詐欺全体の検挙件数は、23件（+１件、+4.5%）

○　特殊詐欺全体の検挙人員は、６人（−７人、-53.8%）

区　分	件　数			人　員		
	令和８年（４月末）	令和７年（４月末）	増減	令和８年（４月末）	令和７年（４月末）	増減
特　殊　詐　欺　本　犯	23	22	+1	6	13	−7
ニセ警察詐欺	5	3	+2	1	0	+1
オレオレ詐欺	7	11	−4	3	9	−6
預貯金詐欺	0	2	−2	0	0	±0
架空料金請求詐欺	0	1	−1	0	0	±0
還付金詐欺	3	0	+3	0	0	±0
融資保証金詐欺	0	1	−1	0	0	±0
金融商品・ギャンブル・交際あっせん・その他	0	0	±0	0	0	±0
キャッシュカード詐欺盗	0	1	−1	0	1	−1
ＳＮＳ型投資詐欺	8	2	+6	2	2	±0
ＳＮＳ型ロマンス詐欺	0	1	−1	0	1	−1
助　長　犯　罪	50	28	+22	24	23	+1
口座詐欺	8	1	+7	5	1	+4
犯罪収益移転防止法	30	24	+6	16	22	−6
携帯電話不正利用防止法等、その他	12	0	+12	3	0	+3
組織的犯罪処罰法	0	3	−3	0	0	±0

4　特殊詐欺に係る被害防止の取組（令和８年４月末）

(1) 声掛け阻止状況（ＳＮＳ投資・ロマンス詐欺を含む特殊詐欺）

○ 声掛け阻止件数　　68　件　　（　　-3 件、　　-7.1%　）

○ 声掛け阻止金額　　9,451万円　　（　＋725万円、　　+8.3%　）

	声掛け阻止件数		声掛け阻止金額(万円)	
		前年同期比		前年同期比
総数	68	-3	9,451	+725
金融機関	33	-1	9,087	+825
コンビニ等	33	+4	357	+67
その他	2	-6	7	-167

※ その他は、第三者の声掛けにより 阻止されたもの

(2) 予兆事案に係る相談の受理状況

ア　特殊詐欺全体

○ 特殊詐欺の予兆事案に係る相談の受理件数は

2,367　件　（　　+227　件、　　+10.6%　）

	合計　（前年同期比）
特殊詐欺全体	2,367　（ +227 ）
特殊詐欺（SNS投資・ロマンス詐欺を除く）	2,214　（ +190 ）
SNS投資・ロマンス詐欺	153　（ +37 ）

イ　特殊詐欺（ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺除く）

	欺罔手段に用いられたツール								合計	（前年同期比）
	電話	（前年同期比）	メール	（前年同期比）	ハガキ・封書	（前年同期比）	その他	（前年同期比）		
総数	1,799	（ +112 ）	198	（ +3 ）	18	（ +6 ）	199	（ +69 ）	2,214	（ +190 ）
ニセ警察	729	（ +92 ）	14	（ -72 ）	1	（ -5 ）	31	（ +30 ）	775	（ +45 ）
オレオレ	944	（ +118 ）	91	（ +85 ）	0	（ ±0 ）	59	（ +54 ）	1,094	（ +257 ）
架空料金	104	（ -45 ）	84	（ -2 ）	17	（ +11 ）	95	（ -23 ）	300	（ -59 ）
還付金	17	（ -53 ）	2	（ +2 ）	0	（ ±0 ）	5	（ +5 ）	24	（ -46 ）
その他の手口	5	（ ±0 ）	7	（ -10 ）	0	（ ±0 ）	9	（ +3 ）	21	（ -7 ）

※ 欺罔手段に用いられたツールのその他はポップアップ・ＦＡＸ送信・パソコン修理名目のサポート

※ その他の手口は預貯金・融資保証金・金融商品・ギャンブル・詐欺盗など

ウ　ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺

	当初接触ツール										合計	（前年同期比）
	フェイスブック	（前年同期比）	LINE	（前年同期比）	インスタグラム	（前年同期比）	マッチングアプリ	（前年同期比）	その他	（前年同期比）		
総数	11	（ -13 ）	30	（ +24 ）	18	（ -9 ）	16	（ +4 ）	78	（ +31 ）	153	（ +37 ）
投資	5	（ +2 ）	24	（ +20 ）	10	（ +1 ）	6	（ +5 ）	67	（ +41 ）	112	（ +69 ）
ロマンス	6	（ -15 ）	6	（ +4 ）	8	（ -10 ）	10	（ -1 ）	11	（ -10 ）	41	（ -32 ）

※ その他は、X・TikTok・メール等

【被害防止対策】

○　シニア安全強化日における被害防止広報【各署】

○　ラジオ番組における寸劇を用いた特殊詐欺広報【五泉署】

○　関係団体と連携した特殊詐欺被害防止広報【新潟東署】

○　カプセルトイを活用した警察庁推奨特殊詐欺対策アプリ等の普及促進に向けた取組【本部】